

2020年度愛知県予算(一般会計)ポイント

スタートアップエコシステムの形成へ向け 支援拠点を整備

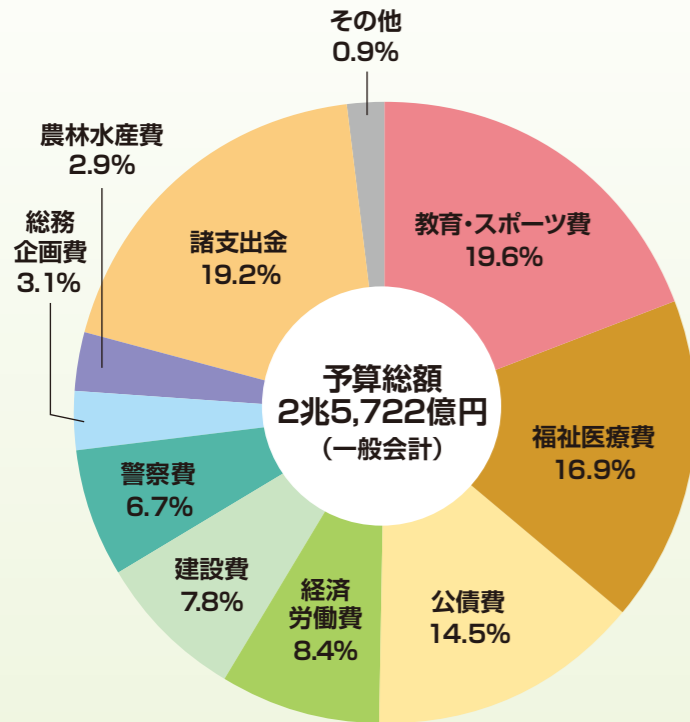
この地域の優秀なスタートアップを創出育成し、海外展開を促すとともに、世界から有力なスタートアップを呼び込むことで優秀な人材を集める。さらに、スタートアップと地域のモノづくり企業等の交流から、新たな付加価値の創出を図る総合的な拠点として、「ステーションAi(エーアイ)」の整備を進める。

教育の情報化を推進

情報活用能力の育成を図るとともに、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を図り、小学校のプログラミング教育、公立小・中学校の情報教育、県立学校のICT教育を推進する。具体的には校内情報通信ネットワークと授業用プロジェクターを順次整備するとともに、教員に対し1人1台タブレットを配備し、児童生徒用の端末も整備する。

愛・地球博記念公園の施設の整備・改修や 周辺道路対策を推進

ジブリパーク整備と連携し、公園施設の整備・改修に関する設計等を進めるとともに、駐車場増設や周辺道路の渋滞緩和に向けた対策を推進する。具体的には、新たな総合案内センター(仮称)の設計や、駐車場増設のための用地確保、公園周辺における交差点の改良などを進める。



日比たけまさ県政レポート 第36号

発行元:日比たけまさ事務所 春日井市中央台6-7-4 TEL:0568-70-0594 発行責任者:日比 たけまさ

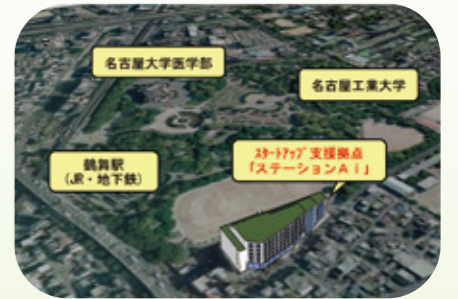
2月定例会開催

愛知県議会2月定例会は2月19日に始まり、中小企業を対象とした「新型コロナウイルス感染症対策緊急つなぎ資金」の創設を早期に可決するとともに、令和2年度一般会計予算案(2兆5,722億円)や議員提案による種子条例の制定をはじめ、予算・条例改正等の64議案を3月25日に可決し、閉会しました。

また、これに先立ち、補正予算案など21議案及び「新型コロナウイルス感染症対策の強化についての意見書」を3月11日に可決しました。

令和2年度予算については、「スタートアップ(※)を起爆剤とした国際イノベーション都市への飛躍」、「ジブリパークの整備等の大規模プロジェクトによる誘客の促進」、「産業首都あいちを支えるインフラの整備」、「安全・安心を確保するための投資」の4つを柱とした、「Aichi[愛知]・総合経済対策」に掲げた施策を盛り込んだ「13の柱」を重点に編成を行いました。

引き続き、厳しい財政状況ではあるものの、愛知の更なる飛躍・前進に向けて全力で取り組んでいきます。
※短期間でのイノベーションや新たなビジネスモデルの構築、新たな市場の開拓を目指す動き。



スタートアップ拠点施設(ステーションAi)

代表質問 安藤 としき 団長(清須市、北名古屋市及び西春日井郡選出 4期)

《Q》 今後の行政需要に対応するため、中・長期的な視点に立った財政運営にどう取り組むのか?

《知事》 今後の積極的な施策展開に必要な税源を確保していくため、「Aichi[愛知]・総合経済対策」に掲げた施策に計画的に取り組み、持続的な経済成長を実現することで税収の確保を図る。

《Q》 保育人材の確保や、病児・病後児保育、児童虐待、子どもの貧困問題にどう取り組むのか?

《知事》 少子化対策として、2024年度までに常勤保育士3万人の確保を目指すほか、病児・病後児保育が県内全市町村で実施されるよう整備・運営支援を行う。また、児童虐待相談に対応したセンター専門職員の計画的増員と相談支援体制の強化、貧困の連鎖を断ち切る学習支援、子ども食堂の開設支援、相談体制の充実に取り組む。

《Q》 外国人材の受入環境整備など、介護人材の確保にどう取り組むのか?

《知事》 介護職への理解促進に向けた取組を進めるとともに、国内人材だけでは限界があることから、外国人材の日本語研修や介護技術の学習支援など、多様な人材の参入促進と定着支援に取り組む。

《Q》 本県企業の大きなウエイトを占める中小企業の働き方改革にどう取り組むのか?

《知事》 4月より中小企業の時間外労働上限規制が始まることから、社会保険労務士などの派遣を始め、個々の企業に合った伴走型支援を行い、多様な働き方を選択できる労働環境づくりに取り組む。中小企業の働き方改革をしっかりと後押しし、「働くことを軸とする安心社会」の実現につなげる。



答弁する大村知事



春日井市内の子ども食堂を副知事、健康福祉部長と視察

ひび挑戦!

2月1日から2か月間、議員インターンシップを受け入れ、活動に参加してもらいました。新型コロナウイルスの影響で、十分な内容とはなりませんが、なかでも「未来自治体全国大会2020」では、30年後に住みたい理想のまちを描きながら、その達成に向け、自らが政策立案し予算立てするという難題に果敢に挑戦してくれました。

深渡由季さん(写真左 中部大学人文学部2年)
伊藤千春さん(写真中央 愛知県立大学外国語学部1年)
飯田あいりさん(写真右 南山大学総合政策学部2年)



下記住所に事務所を構えておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 住所 春日井市中央台6-7-4
- 電話 0568-70-0594
- FAX 0568-70-0580
- HP <http://www.hibi55.com/>



一般質問

外国人未就学児に日本語教育を推進

天野正基議員(小牧市選出 4期)は、外国人未就学児に対する日本語教育を推進するよう県に質問。知事は「学校生活に適應していくためには、早い段階から日本語に慣れ親しむことが重要」とし、2020年度新たに「県地域日本語教育推進補助金」を創設するとともに、外国人未就学児に簡単な日本語や学校での集団生活のルールを教えるプレスクールなどの取組を拡充すると答えた。



愛知県作成の外国人幼児向け日本語学習教材

養育費受給率向上への取組

おおたけりえ議員(豊川市選出 2期)は、養育費受取のための支援について県の考え方を質した。県は、ひとり親家庭の児童の健全育成に欠かせない取組であるとの認識を示し、電話相談や面接相談、無料法律相談を実施していると答弁。また、公正証書作成費用補助、養育費立替、養育支援金等は、他県における取組や今後の国の動きを注視していくと答えた。



養育費受取に力を入れている兵庫県明石市を調査

その他の一般質問

富田 昭雄 議員(名古屋市名東区選出 5期)

教育問題、高齢化問題、行政改革について

佐波 和則 議員(東海市選出 3期)

ものづくりの技能の継承と魅力発信、生物多様性保全の今後の取組について

永井 雅彦 議員(刈谷市選出 3期)

外国人技能実習生の支援、MaaSによるスマートシティの実現について

鈴木 まさと 議員(岡崎市選出 3期)

自動車および家電廃棄の際のシュレッダーダスト、学校プールの今後について

桜井 秀樹 議員(豊田市選出 1期)

これからの産業政策に求められるもの、教員の多忙化解消に向けた取組

議案質疑

3月9日に開かれた本会議にて、グローバル化に通用する教育について質問しました。

2月、3月と私の事務所で活動した3名の女子学生が、期間中、NPO法人ドットジェイピーが主催する「未来自治体全国大会2020」に政策提言をしました。その内容は、①留学しやすい環境整備としての「国際バカロレア教育(※1)の学校設立」、②コミュニケーション能力向上を目指した「幼児と高齢者の触れ合い」、③自分の将来に向け興味や関心を持つきっかけとしての「AI適性検査の実施」を2030年に実施するというものです。



そこで私は、「政策に若者の意見を取り入れることは重要である」との考えから、彼女たちの着眼点を意識しながら、現在の県の取組について質問をさせていただきました。以下、主な質問について概要を記します。

刈谷北高校に新設する予定の国際バカロレアの趣旨を踏まえた「国際探究科」の具体的な内容及びどのような成果を期待しているのか

刈谷北高校の国際探究科では、刈谷市とその周辺地域にグローバル企業が数多く立地するメリットを生かし、海外勤務の経験がある企業の方や日本で勤務する外国人による講演会、特色あるインターンシップなどを実施することを検討していく。

また、海外帰国生徒にかかる入学者選抜の実施校であり、海外での生活を経験した生徒を受け入れている実績を生かして、グローバルなコミュニケーション能力やチャレンジ精神等を育み、グローバル社会で活躍できる人材の育成を図っていく。

海外の大学に進学しやすい環境の整備をどのように実現するのか

これまで文部科学省が進める留学促進事業の活用や、あいちグローバル人材育成事業の一環として、生徒の短期留学等への助成を行うなど、生徒の留学支援を実施してきた。また、昨年度から英語科教員を対象に海外大学への進学に係る説明会を実施している。



国際バカロレア教育を進める大阪市立水都国際中学校の洋書が充実した図書室

今後は、こうした取組を進めるとともに、留学や海外進学を志す生徒の資質・能力を育成することにより、海外の大学へ進学しやすい環境の整備に努めていく。

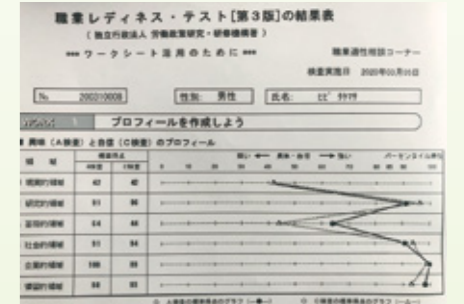
イエナプラン(※2)を含め、コミュニケーション教育についての現在の取組と今後について

新学習指導要領では、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うよう求めている。これは、教師が一方向的に教えるのではなく、児童生徒が互いに議論し考え、認め合うという授業スタイルであり、イエナプランと共通する部分がある。また、県内の小中学校では学年間交流を活発に行い、異なる学年の教え合いや学び合いが実践されている学校もあり、イエナプランと重なるところがある。県教育委員会では、「社会に開かれた教育課程推進事業」を実施

し、社会参画型学習の研究を進めており、これらの取組を広く発信し、児童生徒のコミュニケーション能力を高めていく。

適性がわからないという生徒に対し、職業適性心理検査の活用を含めどのような指導をしているのか

「職業適性心理検査」については、職業学科や就職者の多い普通科を設置する学校を中心に、県立高校では昨年度42校で約1万人が受検している。診断結果をとおして、生徒は自分の持ち味を生かせる仕事や職業についての知識や情報を得ることができ、一方、教師は生徒一人ひとりの個性や適性を客観的に捉えることができています。



私も職業適性心理検査を受けてみました

今後こうした適性検査を生徒のインターンシップや進路相談に活用するなどして、キャリア教育の充実を図っていく。

※1国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラム。国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確認することを目的としている。

※2オランダで普及している教育で、異なる学年の子どもが混在するクラスが設けられ、教員が一方向的に教えるのではなく児童生徒が集まって議論し、考えるというスタイルで実施される。

委員会関係

新型コロナウイルス感染症への議会対応として、質問時間の短縮に向けた働きかけがあったことから、私自身は質問を行いませんでした。そこで委員会関係予算のポイントを簡単に紹介します。

『ジブリパーク』の整備を推進

世界で類を見ないオンリーワンとなるジブリの世界観を表現するため、2022年秋の開業を目指す3エリア(青春の丘エリア、ジブリの大倉庫エリア、どんどこ森エリア)の整備工事を行うとともに、展示・演習計画を検討する。併せて、3エリア開業から概ね1年後の開業を目指す2エリア(もののけの里エリア、魔法の谷エリア)の実施設計を行う。

交通事故死者数の更なる減少を目指し交通安全対策を推進

高齢者の事故防止やあおり運転防止などドライバーの運転マナー向上に向けた啓発活動を実施する。新規施策として、高齢運転者の後付けの安全運転支援装置の設置に要する費用の補助金(1億9千8百万円)が計上された。



ジブリパークエリア図